

第2回
公園づくりWS

子育て世代に やさしいカフェ



報 告 書



目 次

1. 開催概要	 1
2. ワークショップの内容	 2
3. グループ発表の内容	 9
4. 参加者アンケートの結果	 18
5. まとめ	 24

1. 開催概要

日時 10月9日(土) 14:30～16:30

場所 OTTY'S CAFE

❀目的

子育て世代のニーズ把握

❀目標

駅西交流拠点におけるカフェの
主な役割や方向性を見出す

参加者

参加人数 12人 (+お子さん3人)

<内訳>

- ・性別 男性:1人 女性:11人
- ・年代 20代:1人 30代:4人 40代:5人
50代:2人
- ・居住地 大宮:7人 山方:3人 他市:2人

2. ワークショップの内容

進行日程

- 14:30 ・はじめに
・自己紹介
・駅西交流拠点について（5分）
- 14:55 ・グループワーク（45分）
- 15:45 ・発表
- 16:10 ・まとめ
・記念撮影
・アンケート
- 16:30 ・終了予定

自己紹介

- ・お名前（ニックネームでも可）
- ・カフェでよく注文するもの
- ・24時間以内にあった嬉しいこと、新しい発見など



駅西交流拠点について



グループワーク

1 グループ3～4人

※ 同伴のお子さんは任意参加

※ 人数調整のためCグループに駅周辺整備推進課の職員を配置

① カフェでしたい「こと」を大枠で書き出し

カフェでしたいこと



ピンクの付せん一言で



- ・ざっくりでOK！
- ・当たり前のことでも、理想でもOK！
- ・どんどん書いて！

5分



② したいことを実現するために必要な「もの」「人」などを書き出し

「なに」が必要？



ブルーの付せんに一言で



- ・もの、環境、雰囲気、人、サービス…
- ・ピンクの付せんの追加OK！
- ・理由も考えて

10分

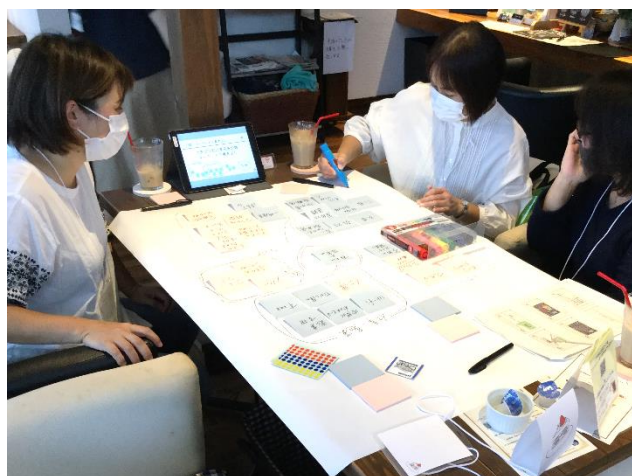
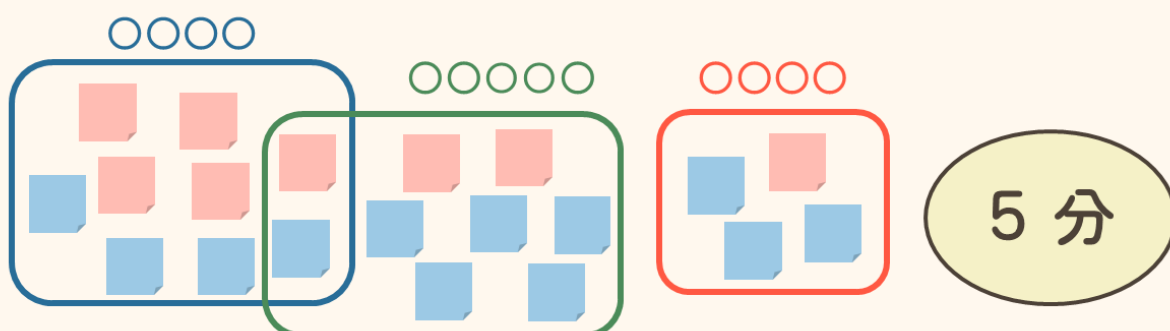


③ 意見をカテゴリ別に分類し、キーワードを書く

分類・キーワードの書き出し



カテゴリ別に意見を分類 キーワードの書き出し

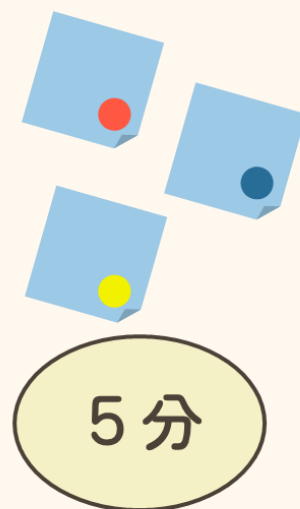


④ 必要な「もの」に3段階で優先順位づけ

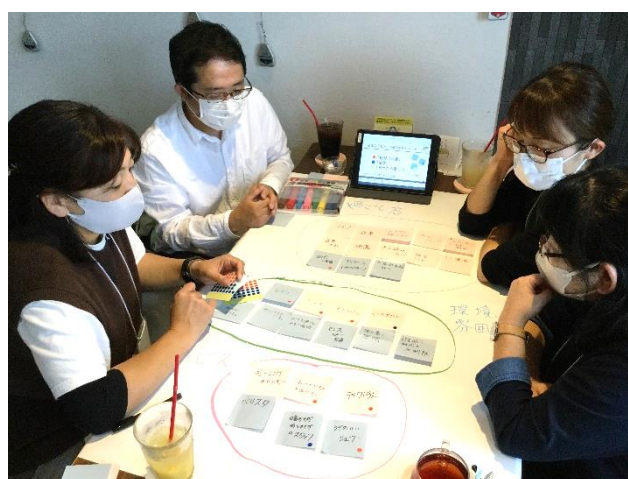
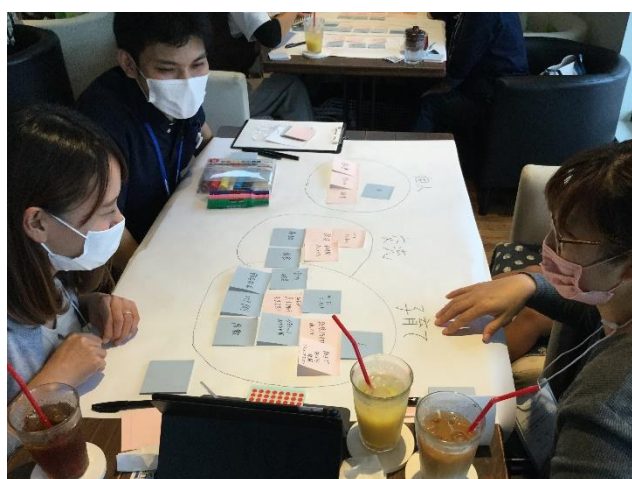
必要な「もの」に優先順位をつける



- 「絶対に必要」
- 「必要」
- 「あったら嬉しい」



・グループで話し合って分類



⑤ カフェをどのように使いたいイメージを描く

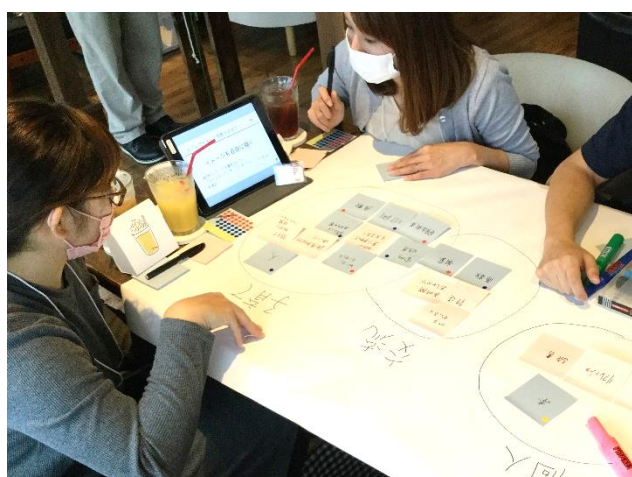
カフェのイメージを膨らませて



イメージを自由に描く

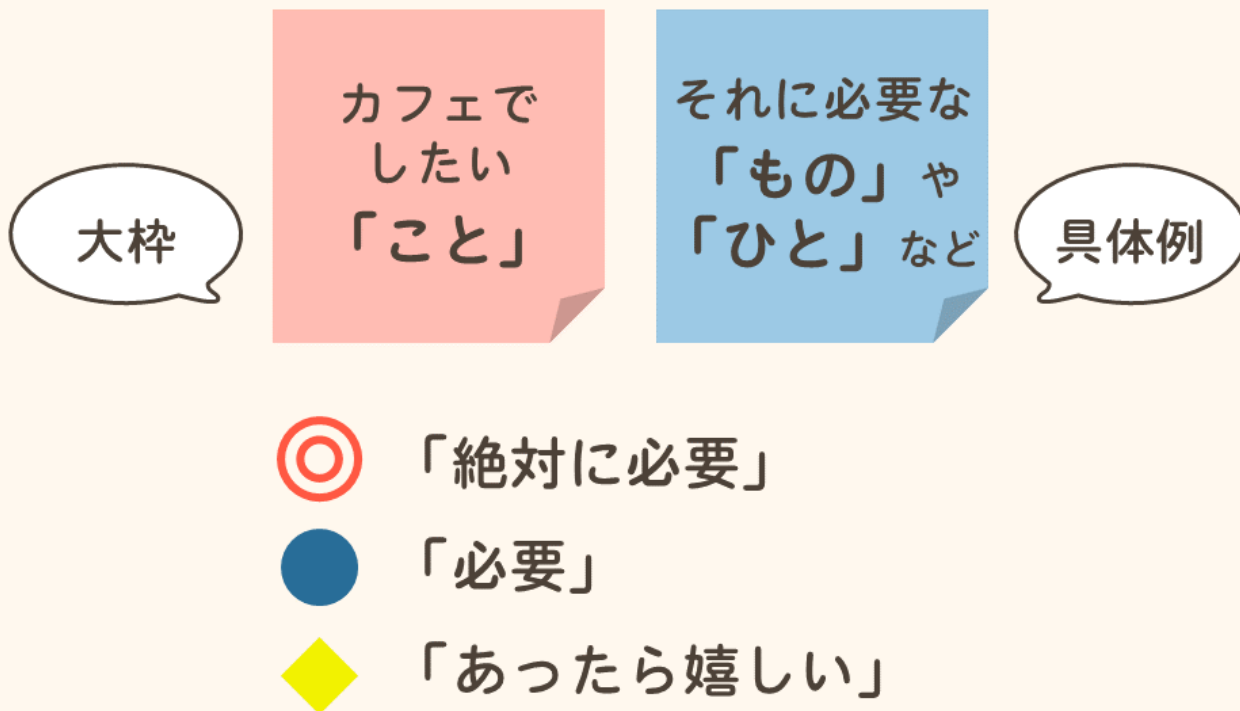
- 絵やキーワードを書き込んで
- 「メインテーマ」や「コンセプト」を表記

15分



3. グループ発表の内容

凡例



A. ショートケーキグループ

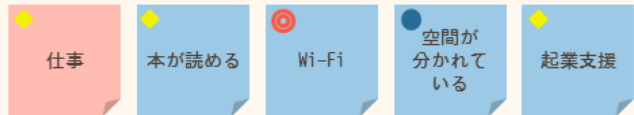
公園とつながる緑のあるカフェ



いやし



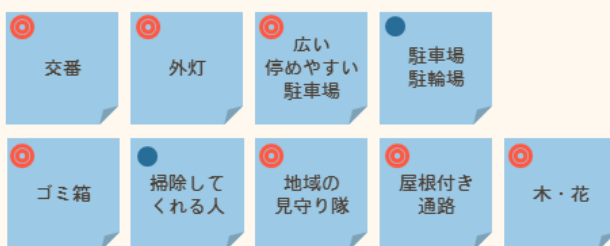
仕事・勉強



経済・雇用



施設



子ども



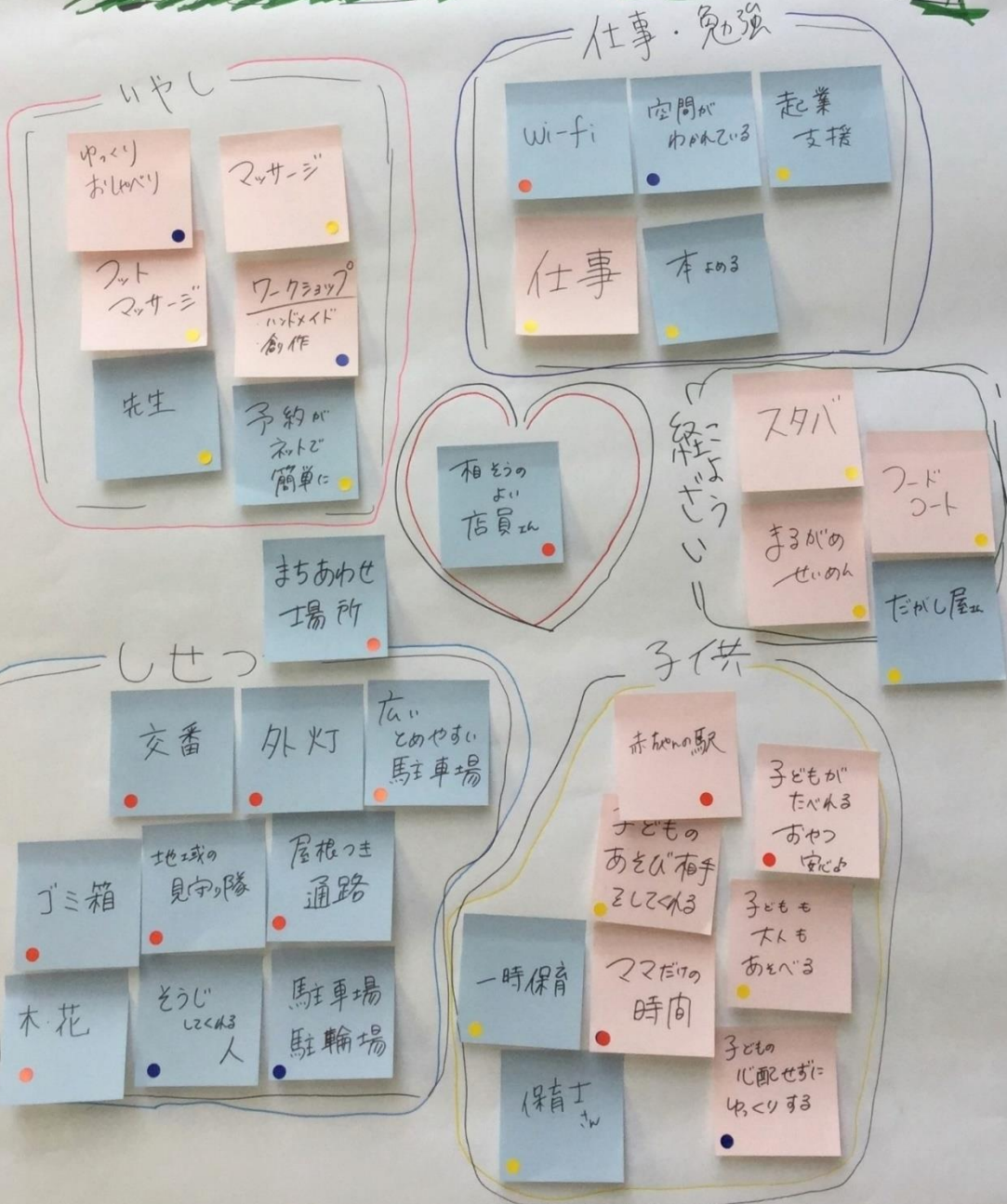
愛想のよい
店員さん

待ち合わせ
場所

- ・木や木目調のカフェで オープン
(外で遊んでいる子どもたちが見える)
- ・絶対欲しいものは 愛想のいい店員さん
- ・駅前は駐車場がないので 広い駐車場 がほしい
- ・自然や木と花 があるリラックスできる場所
- ・高校生が 待ち合わせできる場所 だとい
- ・夜になると暗い場所は嫌なので 外灯 がほしい
- ・交番や見守り隊 がいると安心
- ・テイクアウト商品を持ち歩きするとゴミ問題が生じるので ゴミ箱
- ・赤ちゃんを連れて行ける場所がよい
ex. 子どもが食べられるおやつ、赤ちゃんの駅
- ・ママだけの1人時間 があると子育てしやすいまちになる



公園につながる 緑のあるカフェ

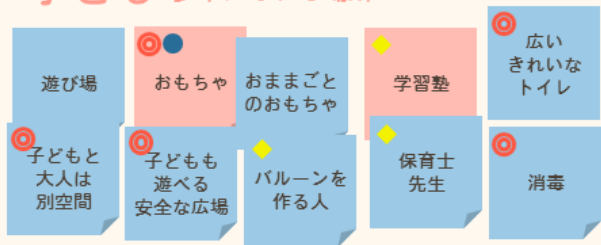


B. コーヒーグループ

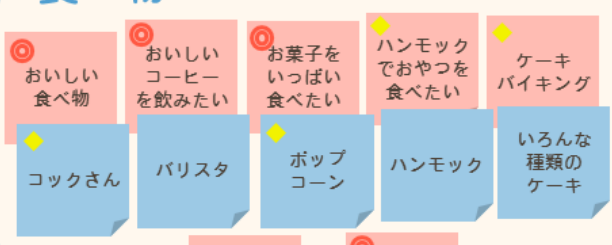
親子で満足♡



子ども 夢中になれる場所



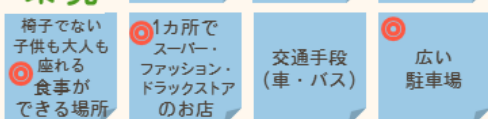
食べ物 子どもと大人が満たされる場所



癒し 異空間 春夏秋冬フリースペース



環境

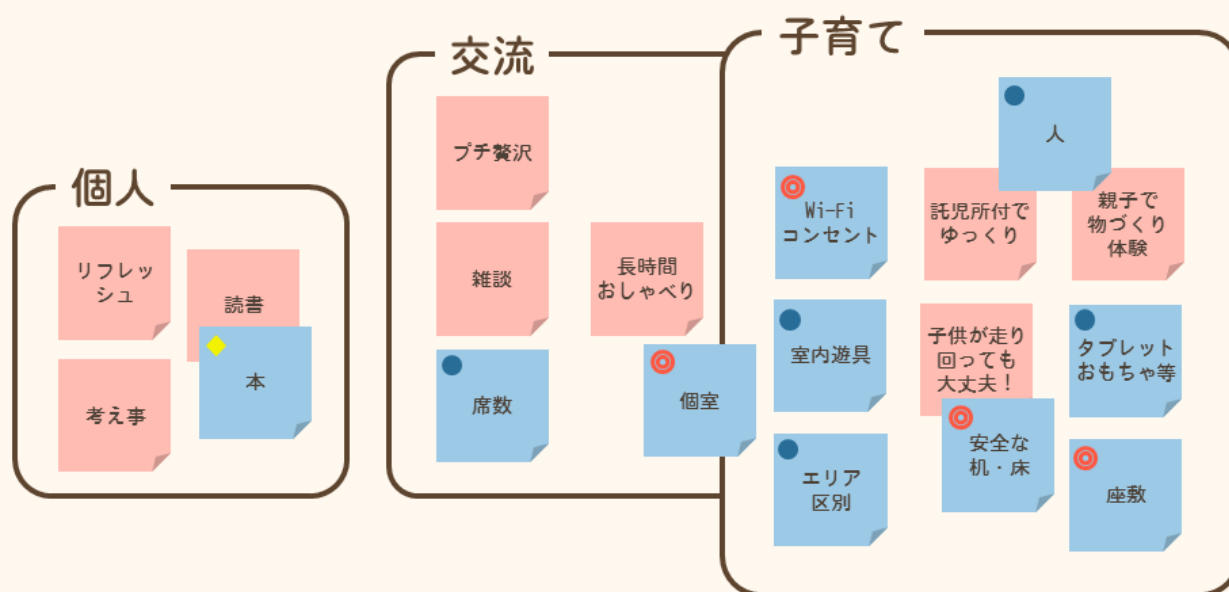


- 子どもの空間 は絶対必要 親が話していても夢中になれるものがあるとよい
ex. おもちゃ、子どもの遊び場、バルーンアート
- 保育士がいると助かる
- 子どもも大人も満足できる飲食スペース
美味しい食べ物、食べ放題・飲み放題、オレンジジュースが作れる
- 異空間 春夏秋冬で異なったイベントが開催される癒しのスペース（自由に使える）
ex. マッサージ、占い、動物と触れ合える、話
- 広い駐車場 は必須
- 店長や店員が可愛い、かっこいいとよい
- 1箇所でスーパーファッションドラッグストアがあるお店 があるとよい

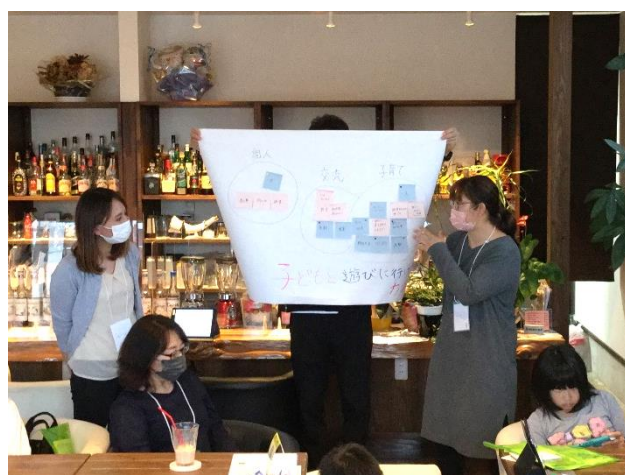


C. クリームドリンクグループ

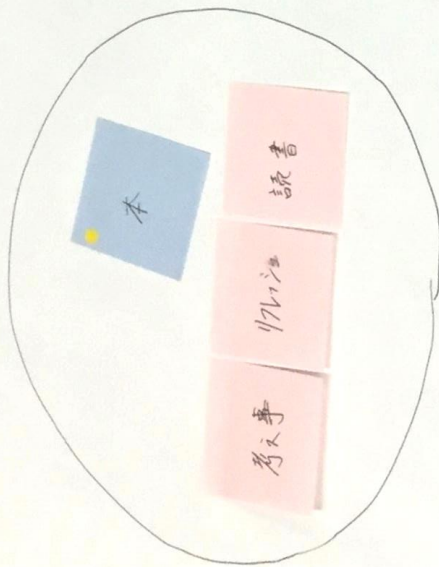
子どもと遊びに行けるカフェ♡



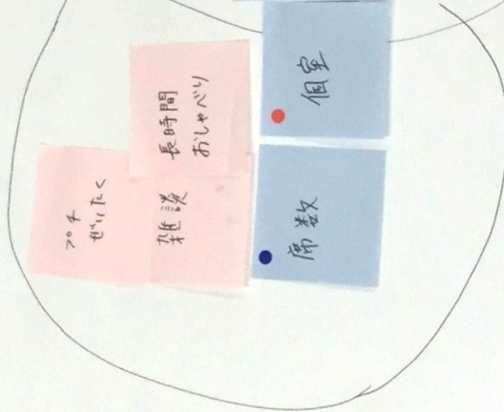
- 大宮には雨の日に遊べる場所が少ないので、小さい子に関しては室内遊具があるとよい
- 大きい子は Wi-Fiとコンセント がある場所がすごく大事
- 大人がゆっくりできるように託児所があるといい
- 小さい子も連れて行けるように 座敷
- 子どもが走り回ってもいいように 安全な机・床
- 騒ぐ人と1人でゆっくりしたい人がいるので、エリア分け
- ワークショップの開催があると行きたくなるきっかけになる
- 本が置いてあると自分の時間を大事に過ごせる



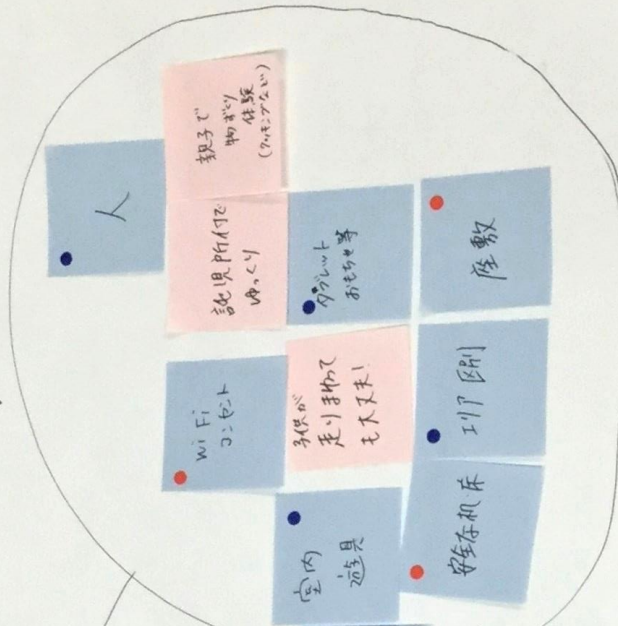
個人



交流



子育て



子どもと遊びに行ける
カフェ♡

D. スープグループ

公園と一体化したカフェ



サービス



過ごし方



環境・雰囲気



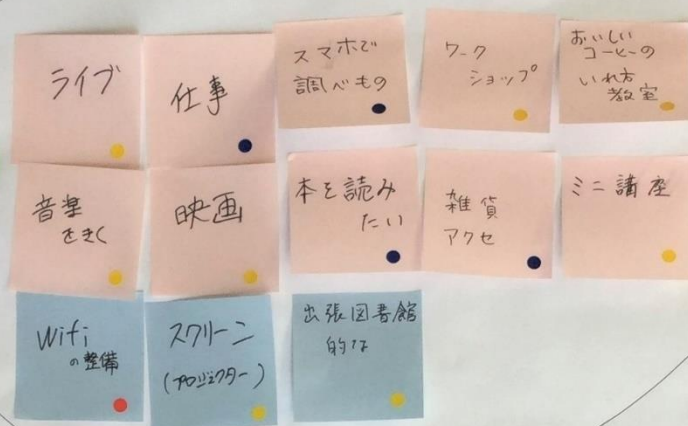
- 美味しいものを食べたい サービスがいちばん
- コロナ渦でもあるので テイクアウト
- 暗すぎず明るすぎずの店員 気持ちのいい対応ができるスタッフ
- 腕のいいシェフ やバリスタ
- 大宮にはないので、出勤前などにモーニングを食べられたらよい
- テラス席 がほしい
- バリアフリー SDGs対応 エコなものを使う
- センスのよい家具、ゆったりした椅子、落ち着く照明などがあると行きたくなる空間・雰囲気になる
- 気持ちのよい芝生 テイクアウトを芝生で食べられると公園との一体化にもつながる
- どのようなメニューがあるか分からないと入りづらいので、外に値段を表示
- 時間が許す限り無制限で長居できるとよい
- 仕事や読書、スマホで調べものなどをして過ごしたい

- 公園があるので、野外シアターやライブ
- バリスタからの美味しいコーヒーの淹れ方教室やミニ講座、ワークショップがあるとカフェを訪れるきっかけになる
- センスのよい雑貨やアクセサリーの販売があるとそれが目当てになる
- 多世代が利用できるカフェになるとよい

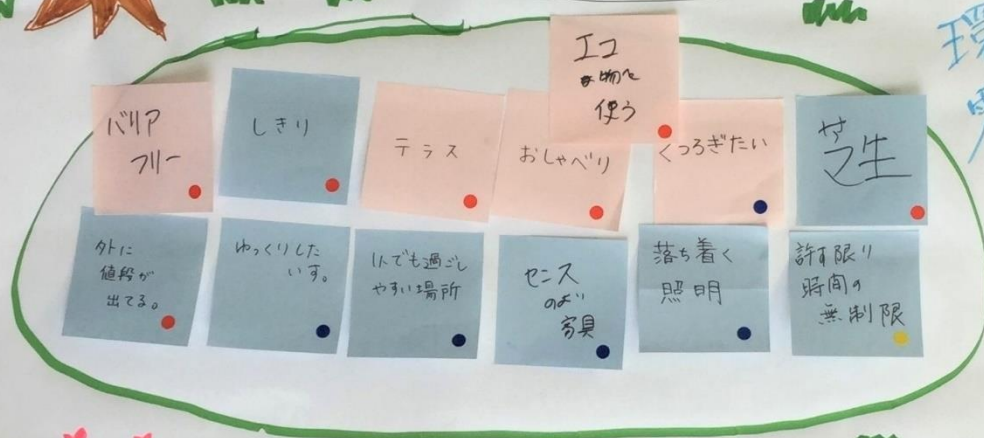


公園と一体化したカフェ

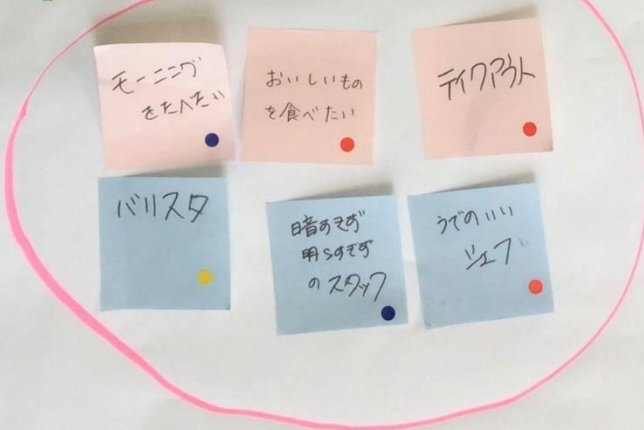
過ごし方



環境 雰囲気



サービス



4. 参加者アンケートの結果

1. 回答者情報

a.子育て状況	①子育て中	②出産予定あり	③その他	
b.お子さんの年齢	①出産予定	②0～3歳	③4～5歳	④小学生以上

2. ワークショップを知ったきっかけ

- ①市HP・ひたまるアプリ ②市SNS(Twitter) ③市広報誌(お知らせ版)
④ポスター・チラシ ⑤友人・知人等から ⑥その他

3. カフェでの開催について

a. 会議室での開催と比較して	①意見を言いやすかった	②意見を言いにくかった	③変わらない
b. 参加動機のひとつに	①なった	②ならなかった	
c. 会場が会議室だった場合	①参加していた	②参加していなかった	

4. よく行くカフェや好きなカフェ

5. 参加した感想

6. 駅西交流拠点全体に関する意見・要望

7. 駅周辺整備事業全体に関する意見・要望

1-a.子育て状況

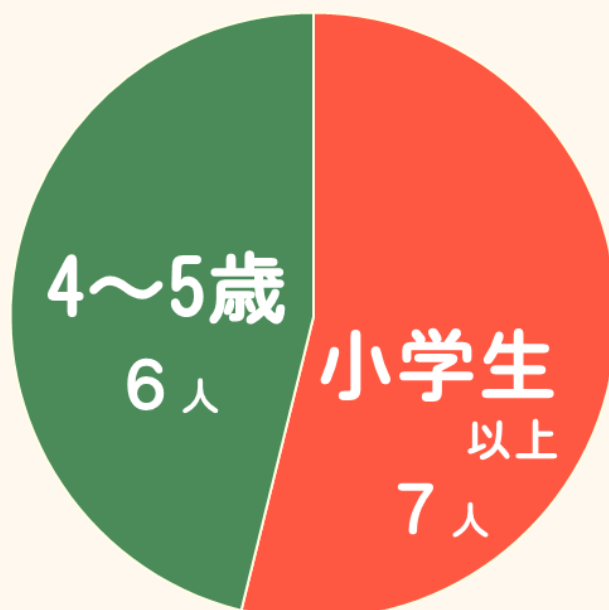
項 目	人数
子育て中	11
その他	1
出産予定あり	0



1-b.子どもの年齢

項 目	人数
小学生以上	7
4～5歳	6
0～3歳	0
出産予定	0

(複数回答)



2. ワークショップを知ったきっかけ

項 目	人数
友人・知人等から	9
市HP・ひたまるアプリ	2
ポスター・チラシ	2
市SNS(Twitter)	0
市広報誌(お知らせ版)	0
その他	0

(複数回答)



3-a. カフェでの開催は会議室と比較して

項 目	人数
意見を言いやすかった	12
意見を言いにくかった	0
変わらない	0



3-b. カフェでの開催は参加動機のひとつに

項 目	人数
なった	12
ならなかった	0



3-c. 会場が会議室だった場合

項 目	人数
参加していた	7
参加していなかった	5



4.よく行くカフェや好きなカフェ

・スターバックス（水戸・ひたちなか）	7人
・タリーズ（水戸）	2人
・サザコーヒー（水戸）	2人
・コメダ珈琲（ひたちなか）	1人
・OTTY'S CAFE（常陸大宮）	1人
・バンホフ（常陸大宮）	1人
・マーシーズコーヒー（城里）	1人
・スターネット（益子）	1人
・ファミーユ（結城）	1人

（一部抜粋）

5.参加してみての感想

- ・みんなのための公園を市民の人達と一緒に考える場を持てたことは嬉しく思った。
- ・カフェでの開催はカフェづくりのイメージが沸くのでとても良いと感じた。
- ・発表でみなさんの意見を聞くと共感できる所が多々あった。
- ・飲みながらできたのでリラックスして参加できた。進行のテンポがよかった。
- ・堅苦しくなく、楽しく話をする中でたくさんの意見が出てよかった。

（一部抜粋）

6. 駅西交流拠点全体に関する意見・要望

- ・人も物も優しいものになれるような公園になるといい。
- ・ソフト面（人・サービス）を重視してほしい。
- ・安心安全に楽しく過ごせる場所にしてほしい。
- ・大人も子供も楽しめる公園ができるといい。
- ・雨天関係なく遊べる空間があるといい。
- ・ゆっくりお話ができる空間があればうれしい。
- ・年齢にあわせてエリア分けしてほしい。
- ・小学校中学年以上が遊べるフリースペースやボルダリングなどもあると良いと思った。

（一部抜粋）

7. 駅周辺整備事業全体に関する意見・要望

- ・駅への送迎車両による渋滞緩和は必須。
- ・駅からの通路に屋根がほしい。
- ・高校生などが使える待合室的なものがあるとうれしい。
- ・新しい公園のイメージがしやすいイラストなどがあるとよい。
- ・魅力が伝わるPRを楽しみにしている。
- ・レンタル自転車があったら便利。
- ・常陸大宮市の中心になるような整備になるとよい。
- ・人口増加につながるとよい。

（一部抜粋）

5. まとめ

今回のワークショップでは、どのグループからも「ゆっくりしたい」「おしゃべりがしたい」、「エリア区別」「仕切り」など、リラックスできる空間や子どもと大人・話をしたい人と静かに過ごしたい人などで空間を分けてほしいとの意見が上がった。「読書」「仕事」「リフレッシュ」、「おもちゃ」「遊び場」などの意見も多く上がったことから、親子が一緒に過ごすだけでなく、親と子がそれぞれ自分の時間を持てるサービスを求めていることがうかがえる。

カフェの雰囲気としては、「オープン」「テラス席」「愛想のいい店員」など、公園と一体化した明るく誰もが訪れやすい環境が求められている。

また、カフェや公園を訪れるきっかけ・目的となる「講座」「ワークショップ」などの開催を求める意見もあり、第1回ワークショップや庁内外の検討委員会等でも多く上げられていることから、市民が重視していることのひとつと言える。

カフェでのワークショップ開催という新たな試みについては、参加者全員から肯定的な意見をいただいた。会場がカフェだから参加した、気軽に話し合えたという声から、多くの意見を引き出すためには会場選びや雰囲気づくりが重要であると考えられる。

敷地面積や整備方針において導入が難しい意見もあるが、安全対策や利便性の向上を前提として市民に寄り添った整備を進めていく。

今後、今回上げられた意見を基に市内子育て世代を対象としたアンケートを実施し、駅西交流拠点整備等に反映させる。





常陸大宮市
駅周辺整備推進課